



津市の獣害対策の取組 ~Vol.5~



今回は、平成24年度の獣害対策事業の実績を紹介します。

また、津市では平成24年度にドロップネット等の先進的な獣害対策の実証実験を行いましたので、その結果も併せてお伝えします！



○平成24年度津市獣害対策事業の実績

取組内容	実績
電気柵、金網、金網フェンスの設置・延長	43,533 m
有害鳥獣捕獲（個体数調整）	オス鹿 1,789 頭、メス鹿 1,177 頭 サル 130 頭、イノシシ 1,448 頭
捕獲檻の購入・補助	購入 8 台、補助 10 台
わな猟免許取得補助	2 人
追い払い隊による活動	追い払い 17 回、パトロール 262 回、 防護柵設置支援 16 回、捕獲檻の現地確認等 30 回

○平成24年度実証実験の実施結果

実証実験の内容	結果	付記事項
緩衝帯による防止 農地に隣接する山裾を帯状に刈り払い、獣が隠れる場所をなくす	イノシシの足跡が減少	LEDライトや防護柵と組み合わせるとより効果が高い
LEDライトによる防止 獣の通る道等にLEDライトを設置する	LEDライト単体での効果は少ないが、地区によっては鹿の侵入を防いだ	緩衝帯を組み合わせると効果的
多獣種柵による防止 下部は金網、上部は電流が流れる柵を設置する	猿による被害が無くなった	緩衝帯と組み合わせるとより効果的
多重音波による防止 獣の通る道に多重周波の音波を流す	効果は絶大 鹿等が現れても侵入は全くされなかった	設置費用が高額であることが課題
ドロップネット 支柱の上に張られたネットを遠隔操作で落とし、ネットの下にいる獣を捕獲する	ネット設置により獣の警戒心が強くなり、ネットに寄り付かず 効果は未確認	

* 問い合わせ先 *

農林水産政策課 電話 229-3172
各総合支所